

第 53 回「秋田県内企業の景気動向調査」結果
(2024 年 8 月調査)

～景況感は小幅ながら 2 期ぶりに悪化。先行きも悪化の見通し～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲8.7（前回調査比 0.7 ポイント下落）と 2 期ぶりに悪化した。「各種D I 値（前年同期比）」では、「売上高」「資金繰り」が改善した一方、「営業利益」が悪化となった。また、「人員人手」はプラス幅が拡大した。
- **業種別**に「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、建設業では大幅に改善となった一方、製造業、卸・小売業、サービス業ではいずれも悪化となった。
- **地域別**に「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、県北が▲14.3（前回調査比 4.3 ポイント下落）、中央が▲12.0（同 5.4 ポイント下落）とともに悪化した一方、県南は 1.1（同 10.4 ポイント上昇）と改善となっている。
- **先行き**見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲12.1（今回調査比 3.4 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

【 特別調査 】

- **今年度の設備投資動向**についてうかがったところ、今年度中に設備投資を「実施する（した）」と回答した企業の割合は 42.3%（昨年度比 3.5 ポイント上昇）と、2 期連続で上昇した。

設備投資を「実施する（した）」と回答した企業 1 社あたりの平均投資額（予定含む）は 9,370 万円で、昨年度の調査時点に比べて 920 万円増加した。

2024 年 8 月

株式会社フィデア情報総研

目次

I. 県内企業の業況	3
1. 概況	3
2. 業種別の動向	4
(1) 業種別の概況	4
(2) 業種別 D I 値の動向	5
① 建設業	5
② 製造業	6
③ 卸・小売業	7
④ サービス業	8
3. 地域別の動向	9
(1) 地域別の概況	9
(2) 地域別 D I 値の動向	10
① 県北	10
② 中央	11
③ 県南	12
II. 景気の天気予報図	13
III. 特別調査	14
1. 今年度の設備投資動向	14
(1) 設備投資動向	14
(2) 設備投資金額	16
(3) 設備投資目的	17
(4) 資金調達方法	19
<参考資料 I : 業種別・地域別回答率>	20
<参考資料 II : 調査の概要>	20

I. 県内企業の業況

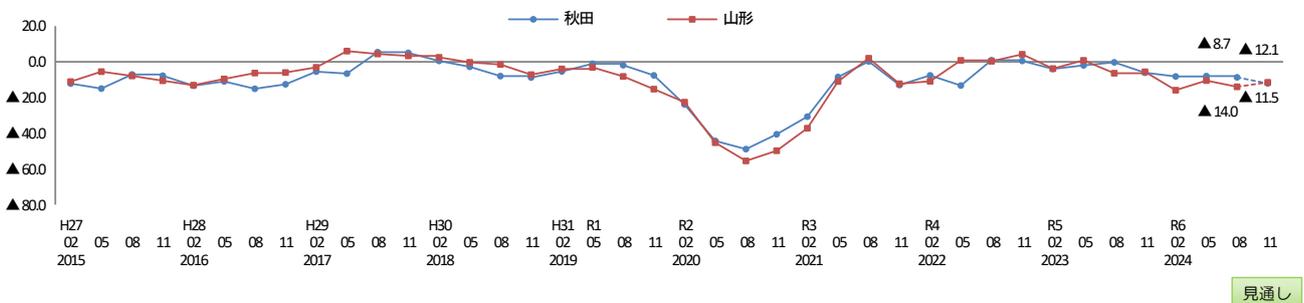
1. 概況

～ 景況感は小幅ながら2期ぶりに悪化。先行きも悪化の見通し ～

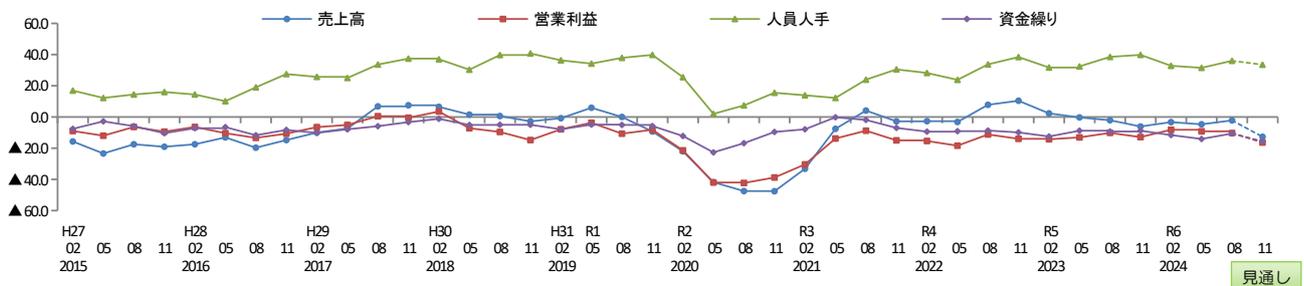
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲8.7（前回調査比0.7ポイント下落）と2期ぶりに悪化した。「各種D I 値（前年同期比）」では、「売上高」「資金繰り」が改善した一方、「営業利益」が悪化となった。また、「人員人手」はプラス幅が拡大した。

先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲12.1（今回調査比3.4ポイント下落）とさらに悪化が見込まれている。

図表1 全業種「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表2 全業種「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

全業種 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2023.08 (n=343)	▲0.3	1.7	▲9.4	▲2.1	▲10.2	38.5	▲9.3
2023.11 (n=327)	▲6.1	▲5.8	▲5.8	▲6.1	▲12.9	39.8	▲8.8
2024.02 (n=329)	▲8.2	▲2.1	▲6.1	▲3.3	▲8.2	32.8	▲11.6
2024.05 (n=339)	▲8.0	0.2	▲19.2	▲4.7	▲9.2	31.5	▲14.1
2024.08 (n=322)	▲8.7	(▲0.7)	▲14.7	▲2.2	▲10.3	36.0	▲10.6
前回調査比	-	-	-	(2.5)	(▲1.1)	(4.5)	(3.5)
先行き見通し	▲12.1	-	-	▲12.7	▲16.4	33.5	▲15.6
今回調査比	(▲3.4)	-	-	(▲10.5)	(▲6.1)	(▲2.5)	(▲5.0)

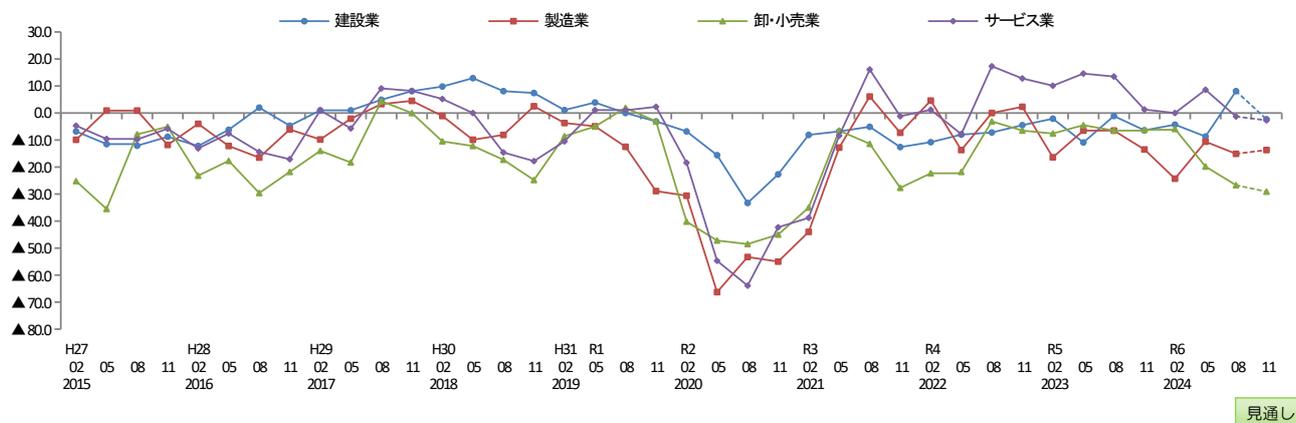
2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、建設業では大幅に改善となった一方、製造業、卸・小売業、サービス業ではいずれも悪化となった。

業況の先行き見通しは、製造業では改善が見込まれる一方、その他の3業種ではいずれも悪化の見通しとなっている。

図表 3 業種別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
2023.08 (n=343)	▲ 0.3	▲ 1.1	▲ 6.5	▲ 6.5	13.5
2023.11 (n=327)	▲ 6.1	▲ 6.4	▲ 13.5	▲ 6.2	1.3
2024.02 (n=329)	▲ 8.2	▲ 4.3	▲ 24.3	▲ 5.9	0.0
2024.05 (n=339)	▲ 8.0	▲ 8.7	▲ 10.6	▲ 19.8	8.6
2024.08 (n=322)	▲ 8.7	8.1	▲ 15.1	▲ 26.7	▲ 1.3
前回調査比	(▲ 0.7)	(16.8)	(▲ 4.5)	(▲ 6.9)	(▲ 9.9)
先行き見通し	▲ 12.1	▲ 2.3	▲ 13.7	▲ 29.1	▲ 2.7
今回調査比	(▲ 3.4)	(▲ 10.4)	(1.4)	(▲ 2.4)	(▲ 1.4)

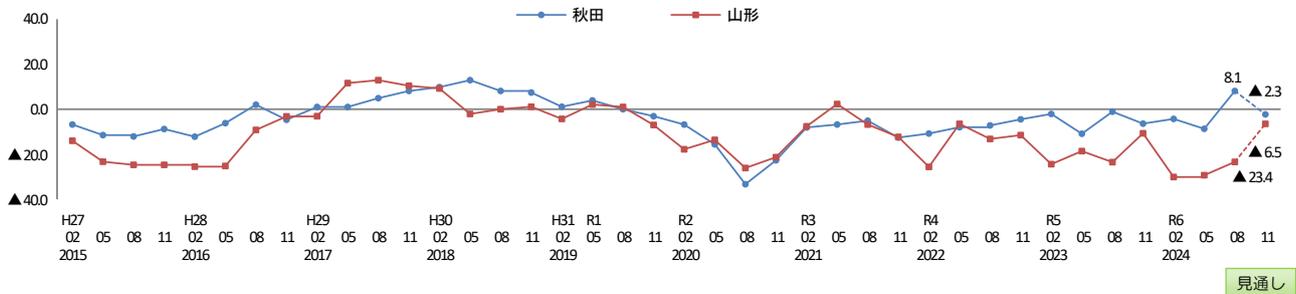
(2) 業種別DI値の動向

① 建設業

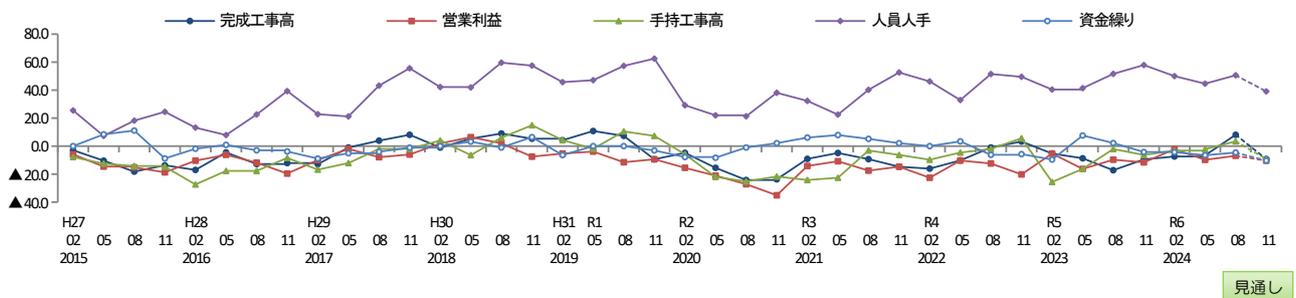
「自社の業況DI値（前年同期比）」は8.1（前回調査比16.8ポイント上昇）と2期ぶりに改善となった。「各種DI値（前年同期比）」では、「完成工事高」と「手持工事高」がプラスに転じたほか、「営業利益」「資金繰り」がいずれも改善となっている。また、「人員人手」はプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、豪雨災害の復旧工事を中心に土木関連工事が多い一方、個人住宅を含め建築関連工事が少なく受注に偏りがみられ、人手不足の影響が深刻な状況がうかがえた。

先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲2.3（今回調査比10.4ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表4 建設業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表5 建設業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

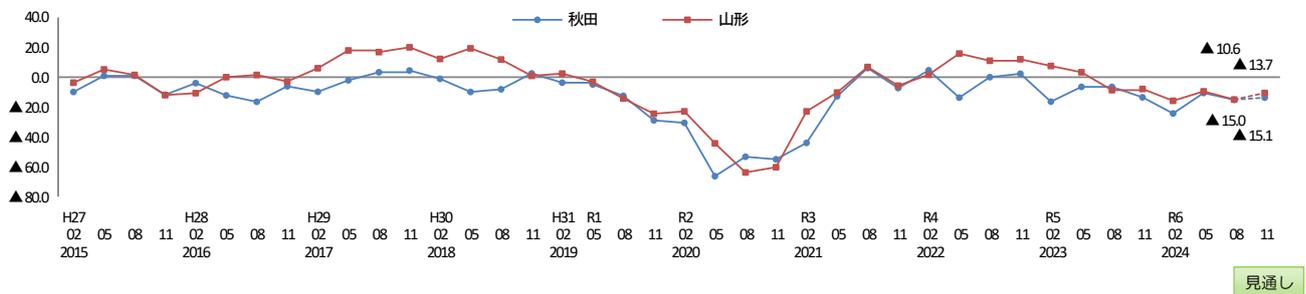
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
2023.08 (n=93)	▲ 1.1	9.8	▲ 8.7	▲ 17.2	▲ 9.7	▲ 2.1	51.6	2.2
2023.11 (n=95)	▲ 6.4	▲ 5.3	▲ 2.1	▲ 9.5	▲ 11.6	▲ 6.3	57.9	▲ 4.2
2024.02 (n=94)	▲ 4.3	2.1	▲ 5.2	▲ 7.4	▲ 2.2	▲ 3.2	50.0	▲ 4.3
2024.05 (n=92)	▲ 8.7	▲ 4.4	▲ 14.9	▲ 6.6	▲ 9.8	▲ 2.2	44.6	▲ 6.5
2024.08 (n=87)	8.1	(16.8)	▲ 19.6	8.1	▲ 6.9	3.4	50.6	▲ 4.6
前回調査比	-	-	-	(14.7)	(2.9)	(5.6)	(6.0)	(1.9)
先行き見通し	▲ 2.3	-	-	▲ 9.2	▲ 10.4	▲ 9.2	39.1	▲ 10.3
今回調査比	(▲ 10.4)	-	-	(▲ 17.3)	(▲ 3.5)	(▲ 12.6)	(▲ 11.5)	(▲ 5.7)

② 製造業

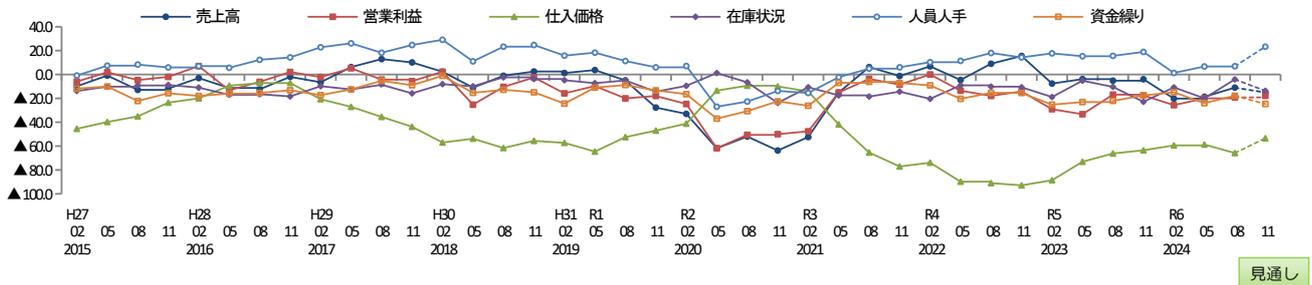
「自社の業況D I 値（前年同期比）」は▲15.1（前回調査比 4.5 ポイント下落）と2期ぶりの悪化となった。「各種D I 値（前年同期比）」では、「仕入価格」が2期ぶりに悪化した一方、「売上高」「営業利益」「在庫状況」「資金繰り」はいずれも改善となった。また、「人員人手」は小幅ながらプラス幅が拡大した。各社のコメントからは、原材料費の上昇に伴う影響が続いている状況がみられ、価格転嫁が難しく収益の悪化を懸念するコメントも寄せられた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲13.7（今回調査比 1.4 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

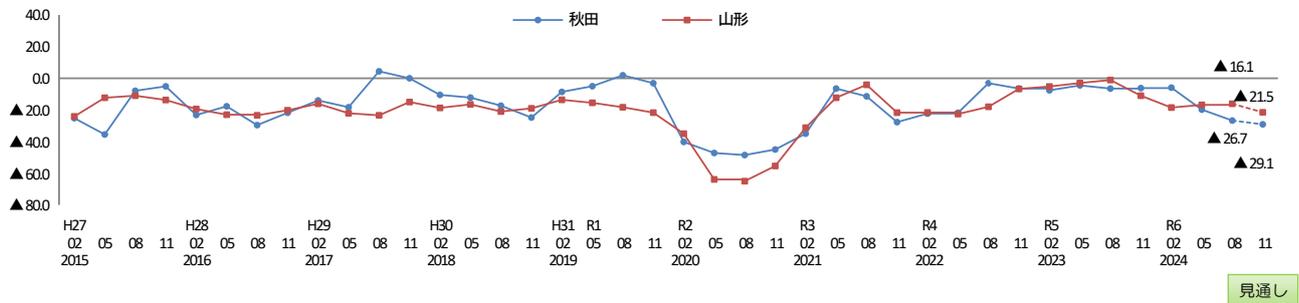
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2023.08 (n=77)	▲ 6.5	0.0	▲ 14.1	▲ 5.2	▲ 16.9	▲ 66.2	▲ 10.4	15.6	▲ 22.1
2023.11 (n=74)	▲ 13.5	▲ 7.0	▲ 7.8	▲ 4.0	▲ 17.5	▲ 63.5	▲ 22.9	18.9	▲ 17.6
2024.02 (n=74)	▲ 24.3	▲ 10.8	▲ 8.1	▲ 20.2	▲ 25.7	▲ 59.4	▲ 10.8	1.3	▲ 14.9
2024.05 (n=75)	▲ 10.6	13.7	▲ 21.6	▲ 18.7	▲ 20.0	▲ 58.7	▲ 20.0	6.7	▲ 24.0
2024.08 (n=73)	▲ 15.1	(▲ 4.5)	▲ 1.3	▲ 11.0	▲ 19.2	▲ 65.8	▲ 4.1	6.9	▲ 17.8
前回調査比	-	-	-	(7.7)	(0.8)	(▲ 7.1)	(15.9)	(0.2)	(6.2)
先行き見通し	▲ 13.7	-	-	▲ 15.1	▲ 17.8	▲ 53.4	▲ 13.7	23.3	▲ 24.7
今回調査比	(1.4)	-	-	(▲ 4.1)	(1.4)	(12.4)	(▲ 9.6)	(16.4)	(▲ 6.9)

③ 卸・小売業

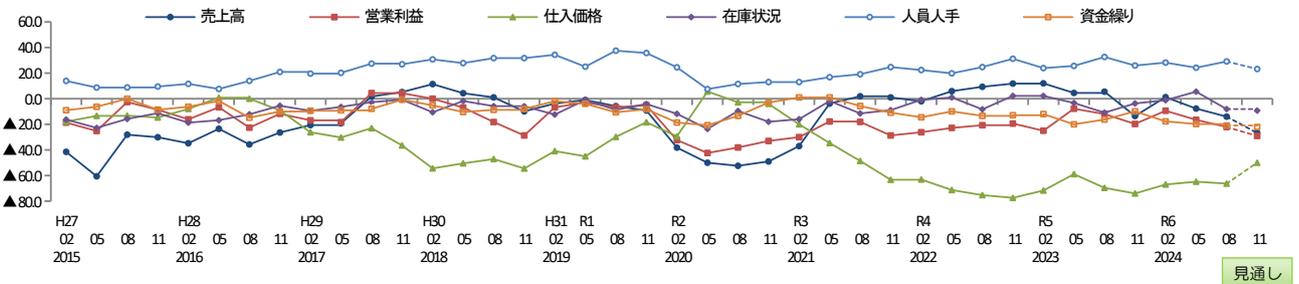
「自社の業況D I 値（前年同期比）」は▲26.7（前回調査比 6.9 ポイント下落）と2期連続の悪化となった。「各種D I 値（前年同期比）」では、「売上高」「営業利益」「仕入価格」「在庫状況」「資金繰り」がいずれも悪化した。また、「人員人手」は2期ぶりにプラス幅が拡大した。各社のコメントからは、物価高による消費者の買い控えの影響がうかがえ、人口減によるマーケット縮小の先行きを危惧するコメントなどもみられた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲29.1（今回調査比 2.4 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

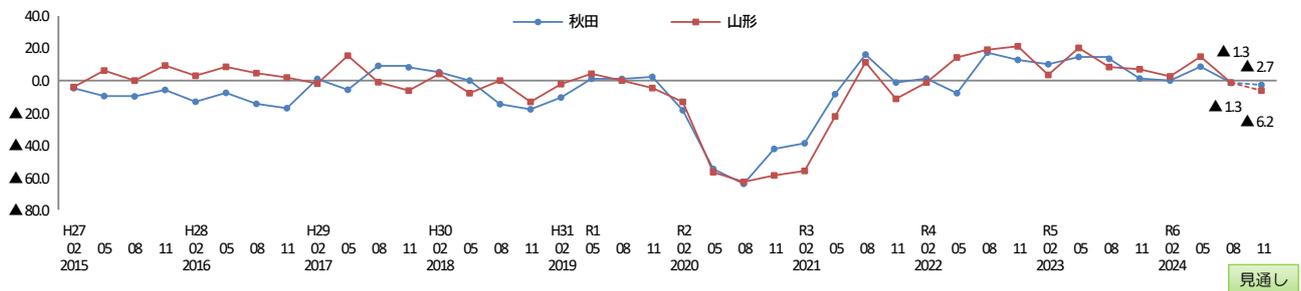
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2023.08 (n= 92)	▲ 6.5	▲ 2.0	▲ 13.3	5.5	▲ 12.0	▲ 69.6	▲ 10.9	32.6	▲ 16.3
2023.11 (n= 81)	▲ 6.2	0.3	▲ 14.1	▲ 13.5	▲ 19.7	▲ 74.0	▲ 3.7	25.9	▲ 9.9
2024.02 (n= 85)	▲ 5.9	0.3	▲ 7.5	1.2	▲ 9.4	▲ 67.0	▲ 1.2	28.2	▲ 17.7
2024.05 (n= 91)	▲ 19.8	▲ 13.9	▲ 17.6	▲ 7.7	▲ 16.5	▲ 64.8	5.5	24.2	▲ 19.8
2024.08 (n= 86)	▲ 26.7	(▲ 6.9)	▲ 24.2	▲ 14.0	▲ 22.1	▲ 66.3	▲ 8.1	29.1	▲ 20.9
前回調査比	-	-	-	(▲ 6.3)	(▲ 5.6)	(▲ 1.5)	(▲ 13.6)	(4.9)	(▲ 1.1)
先行き見通し	▲ 29.1	-	-	▲ 26.7	▲ 29.1	▲ 50.0	▲ 9.3	23.2	▲ 22.1
今回調査比	(▲ 2.4)	-	-	(▲ 12.7)	(▲ 7.0)	(16.3)	(▲ 1.2)	(▲ 5.9)	(▲ 1.2)

④ サービス業

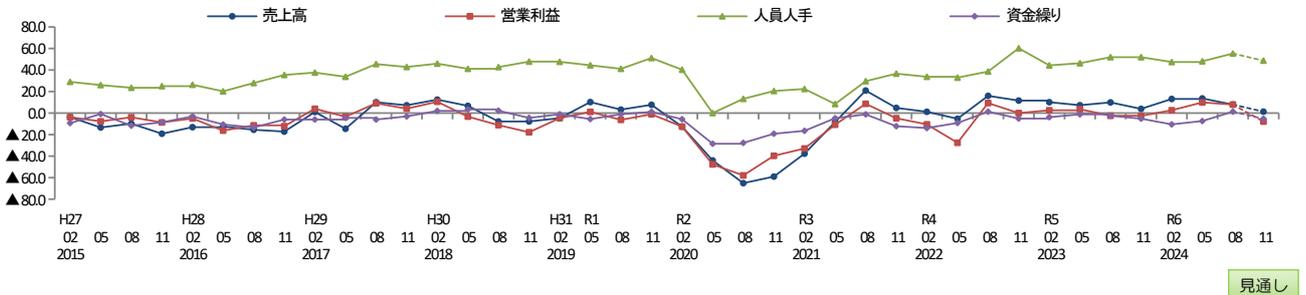
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲1.3（前回調査比 9.9 ポイント下落）と 2 期ぶりに悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」でみると、「売上高」「営業利益」がともに 3 期ぶりの悪化となった一方、「資金繰り」は 2 期連続で改善した。また、「人員人手」は 2 期連続でプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、燃料費の高止まりや物価高などによる業績への影響が引き続きうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲2.7（今回調査比 1.4 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2023.08 (n=81)	13.5	▲ 1.1	▲ 1.3	9.9	▲ 2.5	51.9	▲ 2.5
2023.11 (n=77)	1.3	▲ 12.2	1.2	3.9	▲ 2.6	51.9	▲ 5.2
2024.02 (n=76)	0.0	▲ 1.3	▲ 3.9	13.1	2.6	47.4	▲ 10.5
2024.05 (n=81)	8.6	8.6	▲ 23.7	13.6	9.9	48.1	▲ 7.4
2024.08 (n=76)	▲ 1.3	(▲ 9.9)	▲ 11.1	7.9	7.9	55.3	1.3
前回調査比	-	-	-	(▲ 5.7)	(▲ 2.0)	(7.2)	(8.7)
先行き見通し	▲ 2.7	-	-	1.3	▲ 7.9	48.7	▲ 5.3
今回調査比	(▲ 1.4)	-	-	(▲ 6.6)	(▲ 15.8)	(▲ 6.6)	(▲ 6.6)

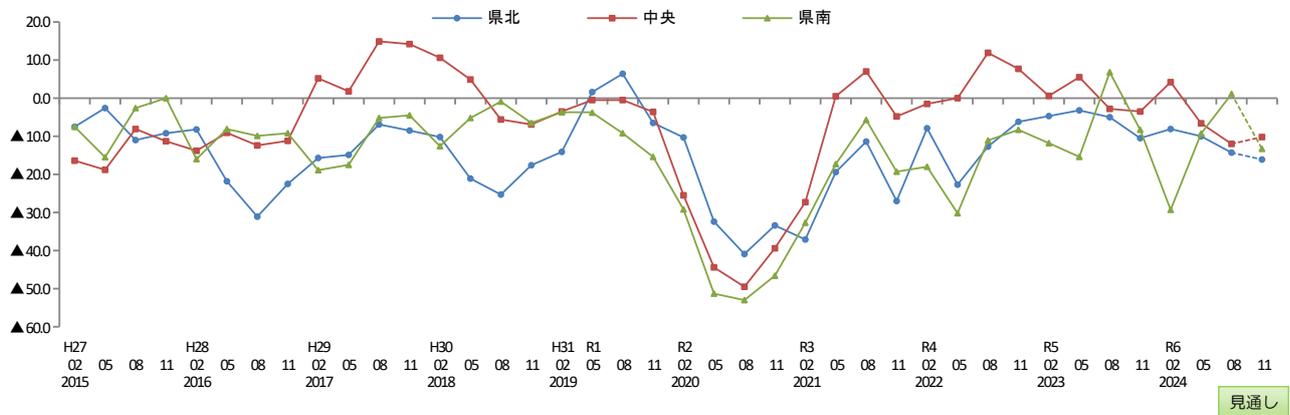
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、県北が▲14.3（前回調査比 4.3 ポイント下落）、中央が▲12.0（同 5.4 ポイント下落）とともに悪化した一方、県南は1.1（同 10.4 ポイント上昇）と改善となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、県北と県南では悪化が見込まれている一方、中央では改善の見通しとなっている。

図表 12 地域別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			
	全地域	県北	中央	県南
2023.08 (n=343)	▲ 0.3	▲ 5.0	▲ 2.8	6.8
2023.11 (n=327)	▲ 6.1	▲ 10.5	▲ 3.5	▲ 8.3
2024.02 (n=329)	▲ 8.2	▲ 8.1	4.2	▲ 29.3
2024.05 (n=339)	▲ 8.0	▲ 10.0	▲ 6.6	▲ 9.3
2024.08 (n=322)	▲ 8.7	▲ 14.3	▲ 12.0	1.1
前回調査比	(▲ 0.7)	(▲ 4.3)	(▲ 5.4)	(10.4)
先行き見通し	▲ 12.1	▲ 16.1	▲ 10.2	▲ 13.3
今回調査比	(▲ 3.4)	(▲ 1.8)	(1.8)	(▲ 14.4)

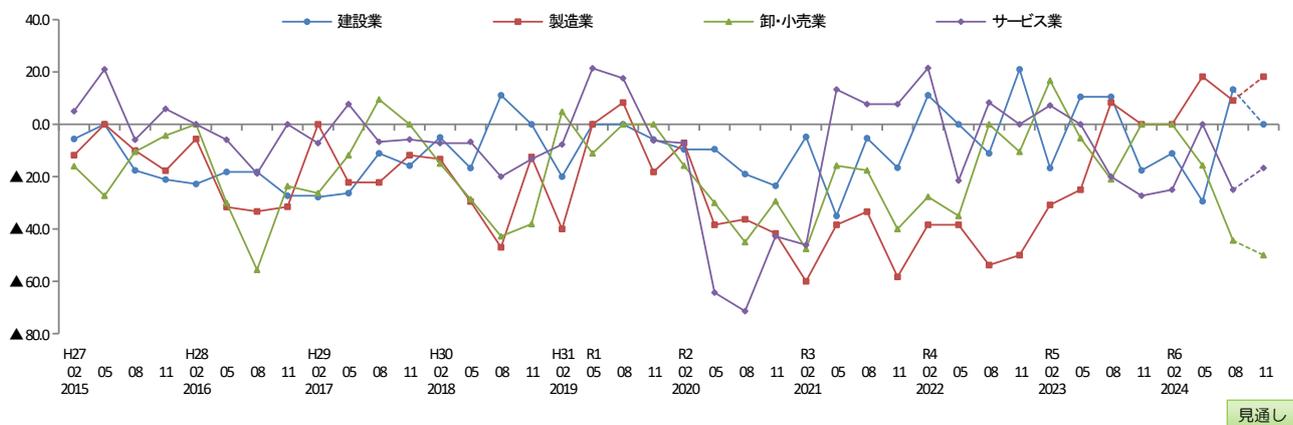
(2) 地域別 D I 値の動向

① 県北

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲14.3（前回調査比 4.3 ポイント下落）と 2 期連続で悪化となった。業種別では、建設業が大幅に改善した一方、その他の 3 業種ではともに悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲16.1（今回調査比 1.8 ポイント下落）と悪化が見込まれている。業種別では、製造業とサービス業では改善が見込まれている一方、建設業と卸・小売業では悪化の見通しとなっている。

図表 13 県北業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

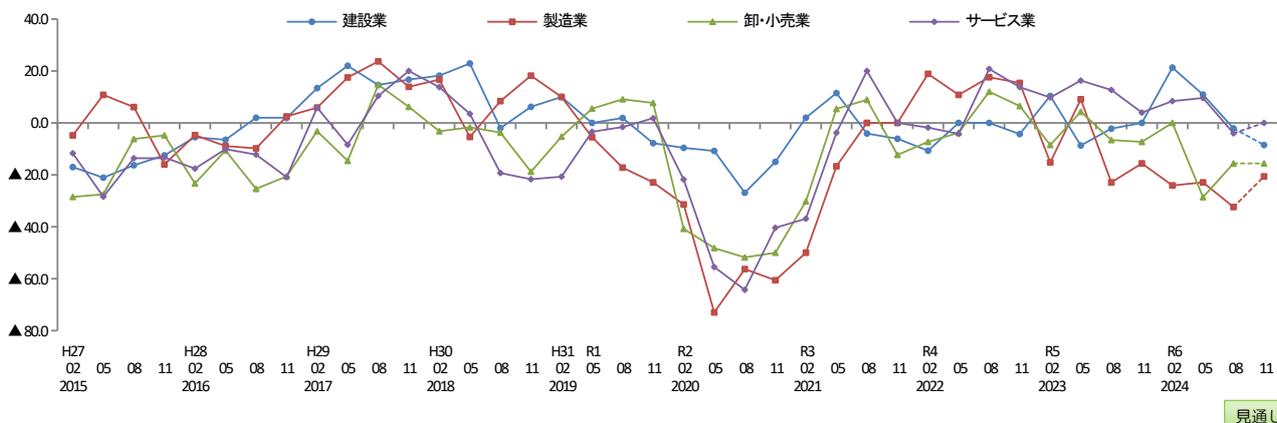
県北 調査時(サンプル数)	自社業況 (前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2023.08 (n=60)	▲ 5.0	10.5	8.3	▲ 21.0	▲ 20.0
2023.11 (n=57)	▲ 10.5	▲ 17.6	0.0	0.0	▲ 27.3
2024.02 (n=61)	▲ 8.1	▲ 11.1	0.0	0.0	▲ 25.0
2024.05 (n=60)	▲ 10.0	▲ 29.4	18.2	▲ 15.7	0.0
2024.08 (n=56)	▲ 14.3	13.3	9.1	▲ 44.4	▲ 25.0
前回調査比	(▲ 4.3)	(42.7)	(▲ 9.1)	(▲ 28.7)	(▲ 25.0)
先行き見通し	▲ 16.1	0.0	18.2	▲ 50.0	▲ 16.7
今回調査比	(▲ 1.8)	(▲ 13.3)	(9.1)	(▲ 5.6)	(8.3)

② 中央

「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲12.0（前回調査比5.4ポイント下落）と2期連続の悪化となった。業種別では、卸・小売業で改善となった一方、他の3業種では悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲10.2（今回調査比1.8ポイント上昇）と改善が見込まれている。業種別では、建設業では悪化の見通しとなっている一方、卸・小売業では横這い、製造業とサービス業では改善が見込まれている。

図表 14 中央業種別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

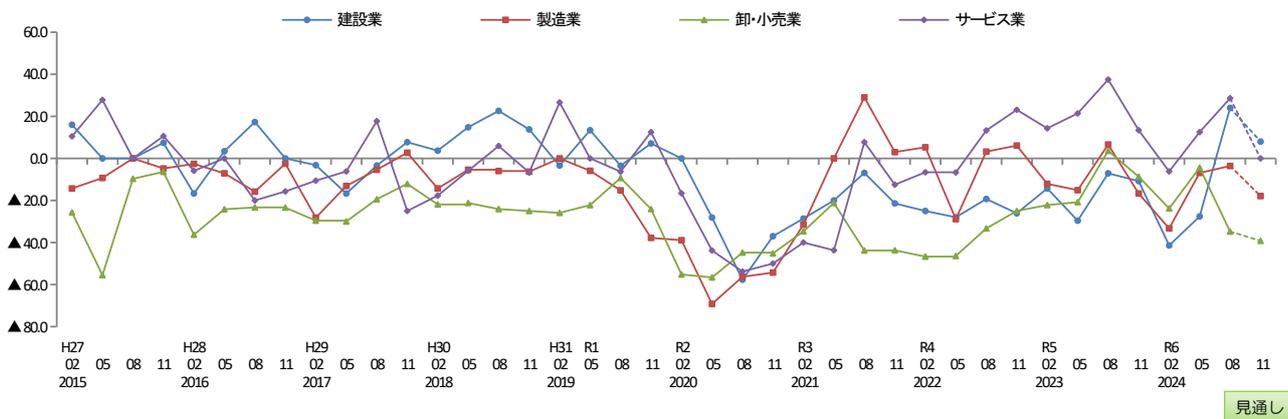
中央 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2023.08 (n=181)	▲ 2.8	▲ 2.2	▲ 22.9	▲ 6.6	12.7
2023.11 (n=174)	▲ 3.5	0.0	▲ 15.6	▲ 7.3	4.0
2024.02 (n=169)	4.2	21.3	▲ 24.1	0.0	8.4
2024.05 (n=182)	▲ 6.6	10.9	▲ 22.9	▲ 28.6	9.6
2024.08 (n=176)	▲ 12.0	▲ 2.1	▲ 32.4	▲ 15.6	▲ 4.0
前回調査比	(▲ 5.4)	(▲ 13.0)	(▲ 9.5)	(13.0)	(▲ 13.6)
先行き見通し	▲ 10.2	▲ 8.5	▲ 20.6	▲ 15.6	0.0
今回調査比	(1.8)	(▲ 6.4)	(11.8)	(0.0)	(4.0)

③ 県南

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 1.1（前回調査比 10.4 ポイント上昇）と 2 期連続の改善となった。業種別にみると、卸・小売業では大幅な悪化となった一方、建設業は大幅に改善し、製造業とサービス業でも改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲13.3（今回調査比 14.4 ポイント下落）と悪化が見込まれている。業種別では、すべての業種で悪化の見通しとなっている。

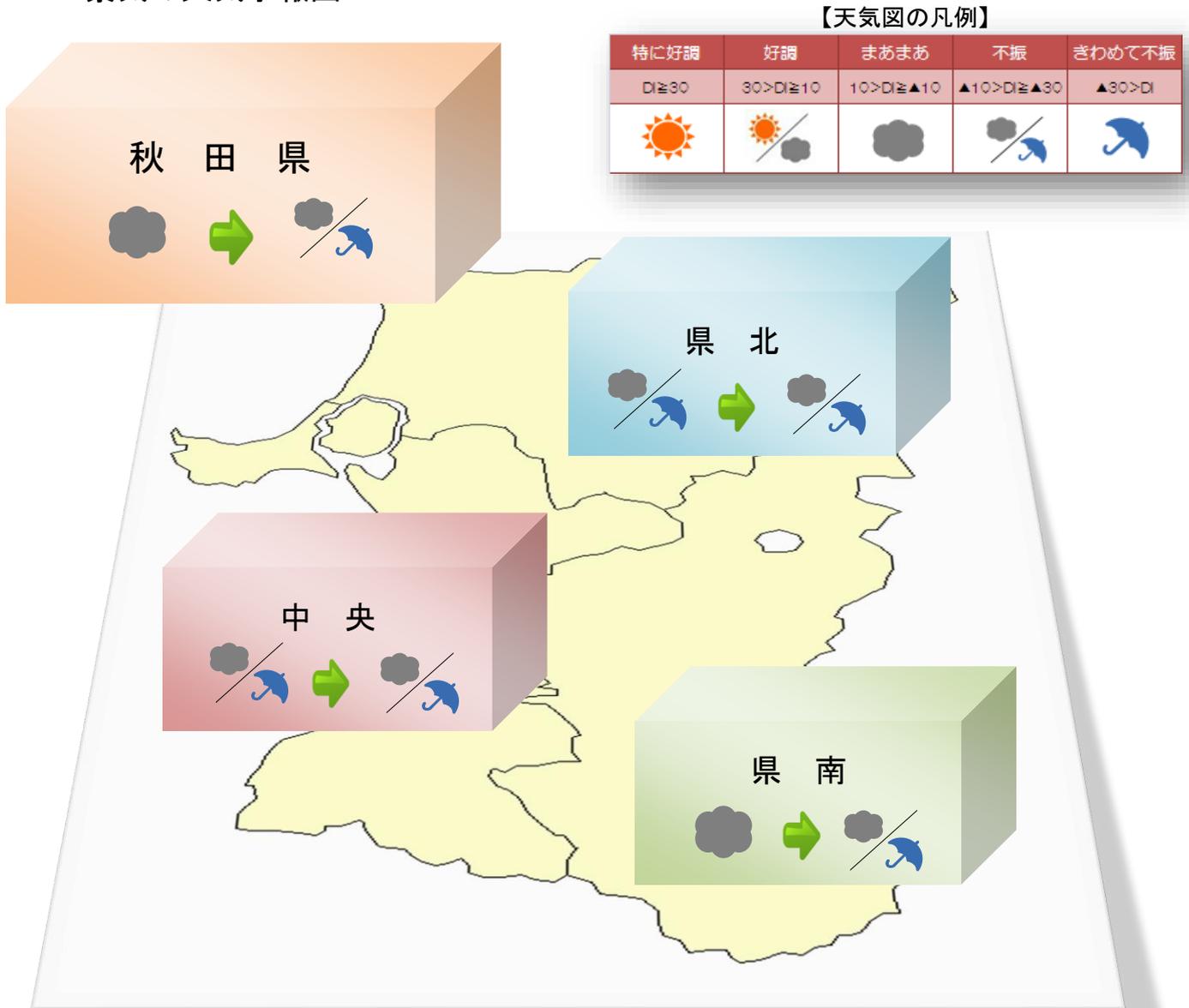
図表 15 県南業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

県南 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2023.08 (n=102)	6.8	▲ 7.1	6.6	3.6	37.5
2023.11 (n=96)	▲ 8.3	▲ 10.8	▲ 16.7	▲ 8.7	13.4
2024.02 (n=99)	▲ 29.3	▲ 41.4	▲ 33.3	▲ 23.8	▲ 6.2
2024.05 (n=97)	▲ 9.3	▲ 27.6	▲ 6.9	▲ 4.4	12.5
2024.08 (n=90)	1.1	24.0	▲ 3.6	▲ 34.8	28.6
前回調査比	(10.4)	(51.6)	(3.3)	(▲ 30.4)	(16.1)
先行き見通し	▲ 13.3	8.0	▲ 17.9	▲ 39.2	0.0
今回調査比	(▲ 14.4)	(▲ 16.0)	(▲ 14.3)	(▲ 4.4)	(▲ 28.6)

Ⅱ. 景気の天気予報図



今期の概況

来期の見通し

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				



	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

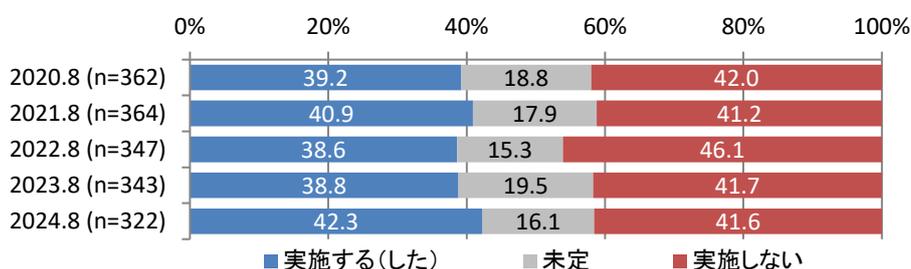
Ⅲ. 特別調査

1. 今年度の設備投資動向

(1) 設備投資動向

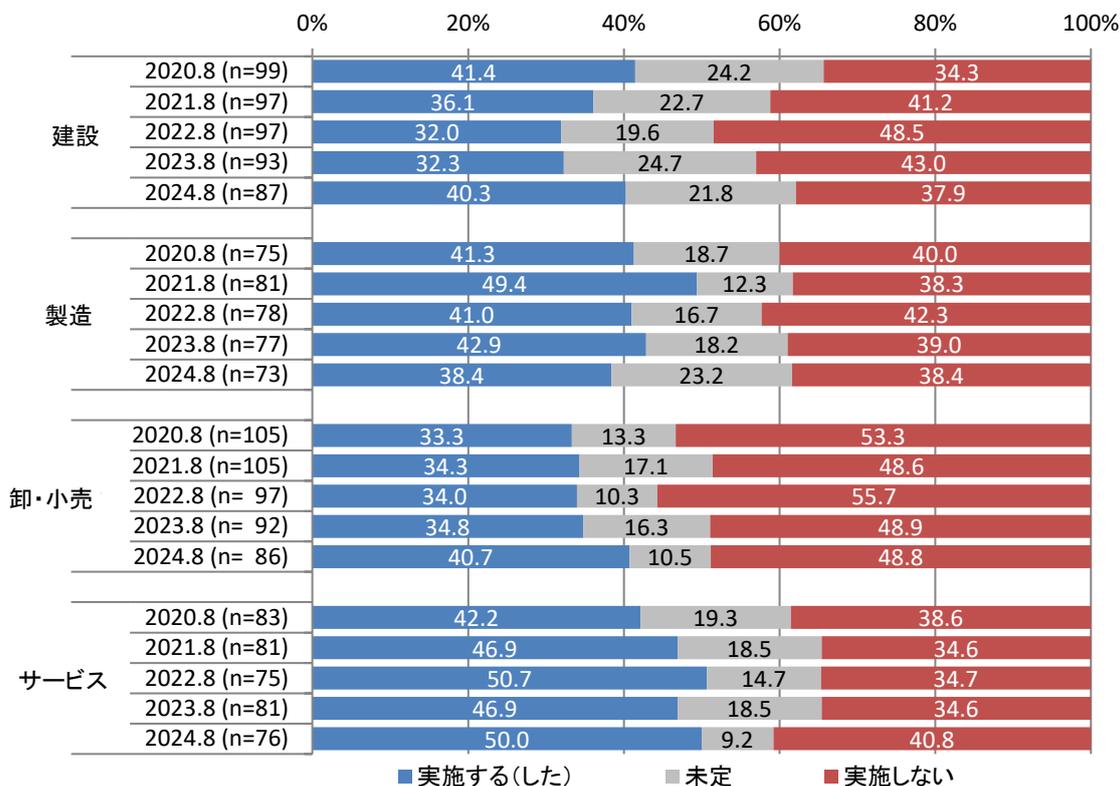
今年度中に設備投資を「実施する(した)」と回答した企業の割合は42.3% (昨年度比3.5ポイント上昇)と2期連続で上昇した。一方、「実施しない」企業の割合は41.6% (同0.1ポイント低下)と2期連続の低下となった。また、「未定」企業の割合は16.1% (同3.4ポイント低下)と2期ぶりで低下した。

図表 16 「設備投資動向」の推移



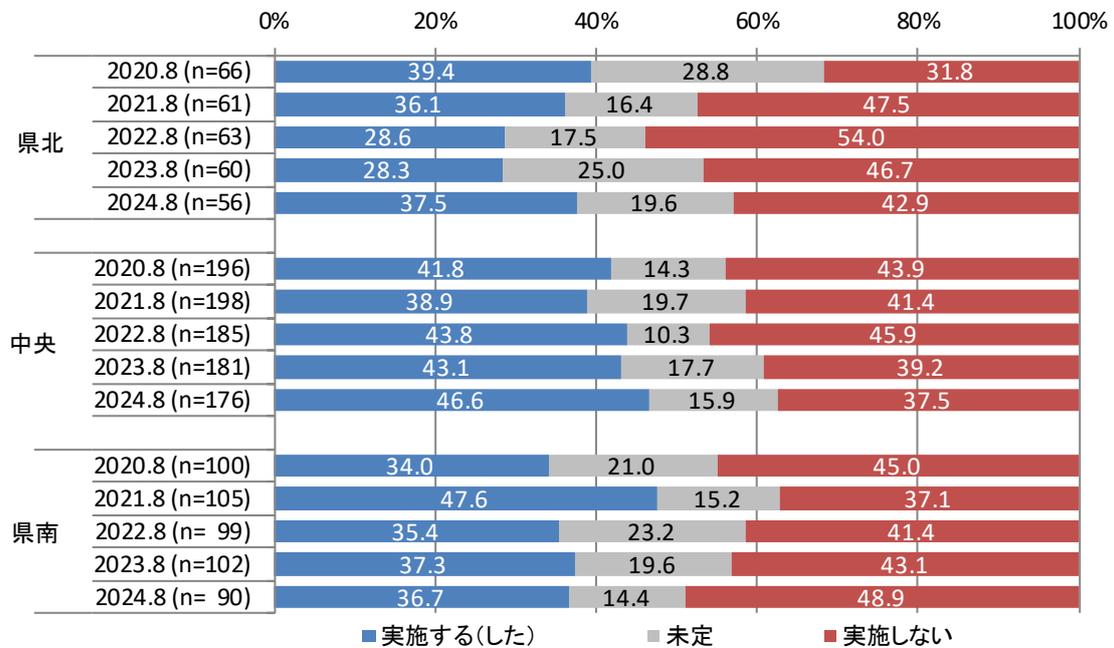
業種別にみると、設備投資を「実施する(した)」と回答した企業の割合は、製造業で低下した一方、その他の3業種ではいずれも上昇となった。最も割合が高いのはサービス業で、50.0% (昨年度比3.1ポイント上昇)と5割台に乗せた。

図表 17 業種別「設備投資動向」の推移



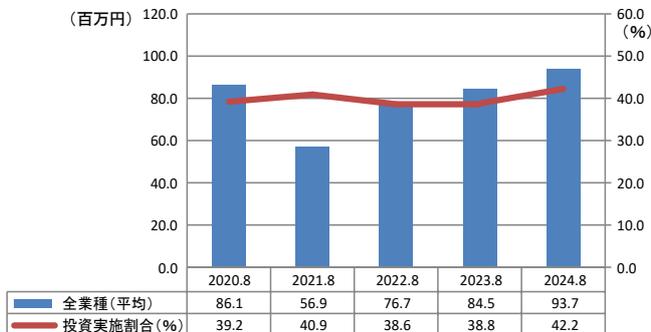
地域別にみると、設備投資を「実施する（した）」と回答した企業の割合は、県南では 36.7%（昨年度比 0.6 ポイント低下）と低下した一方、県北（37.5%）と中央（46.6%）では上昇した。

図表 18 地域別「設備投資動向」の推移



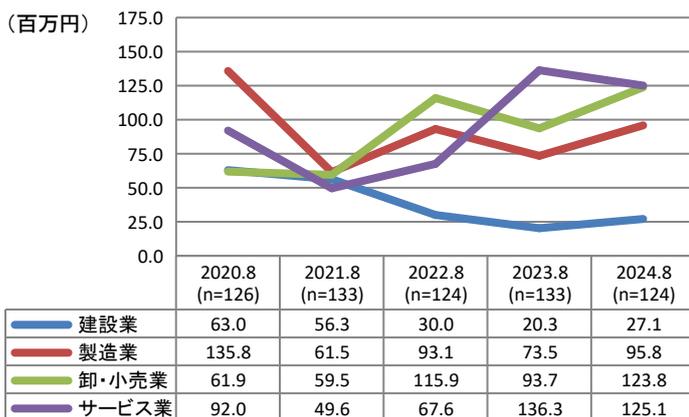
(2) 設備投資金額

図表 19 全業種「設備投資金額と実施割合」の推移



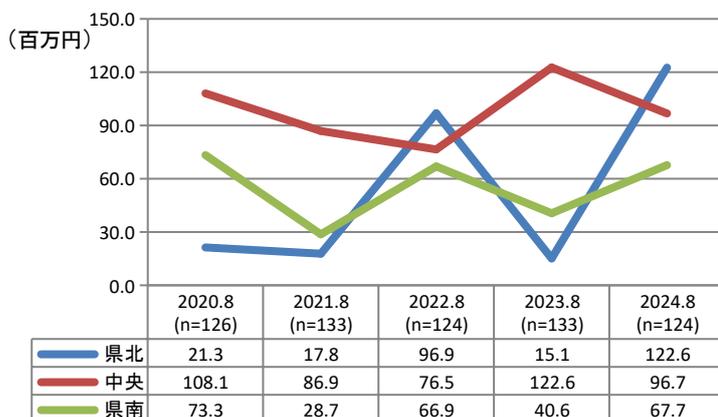
設備投資を「実施する(した)」と回答した企業に投資額を尋ねたところ、1社あたり平均投資額(予定含む)は9,370万円で、昨年度の調査時点に比べて920万円増加した。

図表 20 業種別「設備投資金額」の推移



1社あたり平均投資額を業種別にみると、建設業では2,710万円(昨年度調査比680万円増)、製造業では9,580万円(同2,230万円増)、卸・小売業では12,380万円(同3,010万円増)、サービス業では12,510万円(同1,120万円減)となり、サービス業では減少した一方、その他の3業種ではいずれも増加となった。

図表 21 地域別「設備投資金額」の推移



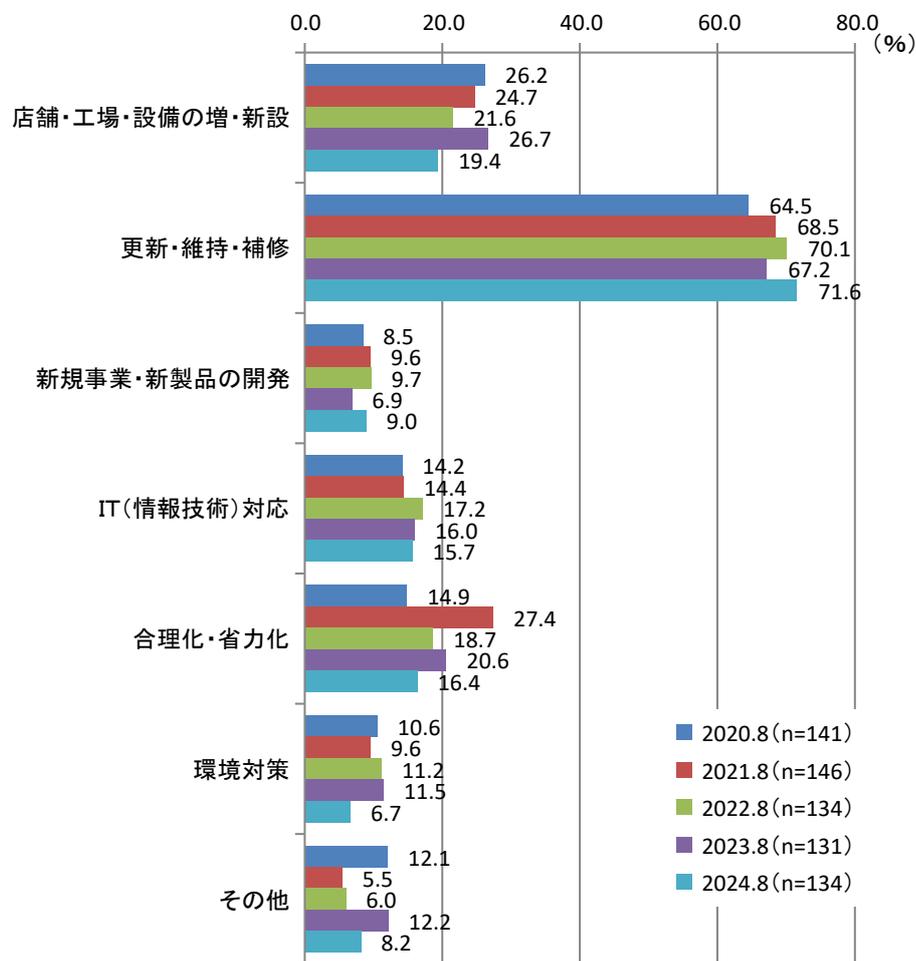
1社あたり平均投資額を地域別にみると、県北では12,260万円(昨年度調査比10,750万円増)、中央では9,670万円(同2,590万円減)、県南では6,770万円(同2,710万円増)となり、中央では減少した一方、その他の2地域では増加となった。

(3) 設備投資目的

設備投資の主な目的について尋ねたところ（複数回答）、回答した企業の割合が最も高かったのは「更新・維持・補修」の71.6%で、次いで「店舗・工場・設備の増・新設」が19.4%で続き、以下は「合理化・省力化」（16.4%）、「IT（情報技術）対応」（15.7%）の順となり、前年から上位の順位には変化がなかった。

投資目的別に割合の推移をみると、「その他」を除く項目のうち、1位の「更新・維持・補修」と5位の「新規事業・新製品の開発」の2項目では前年に比べて割合が上昇した一方、2位の「店舗・工場・設備の増・新設」や3位の「合理化・省力化」など他の4項目では割合が低下している。

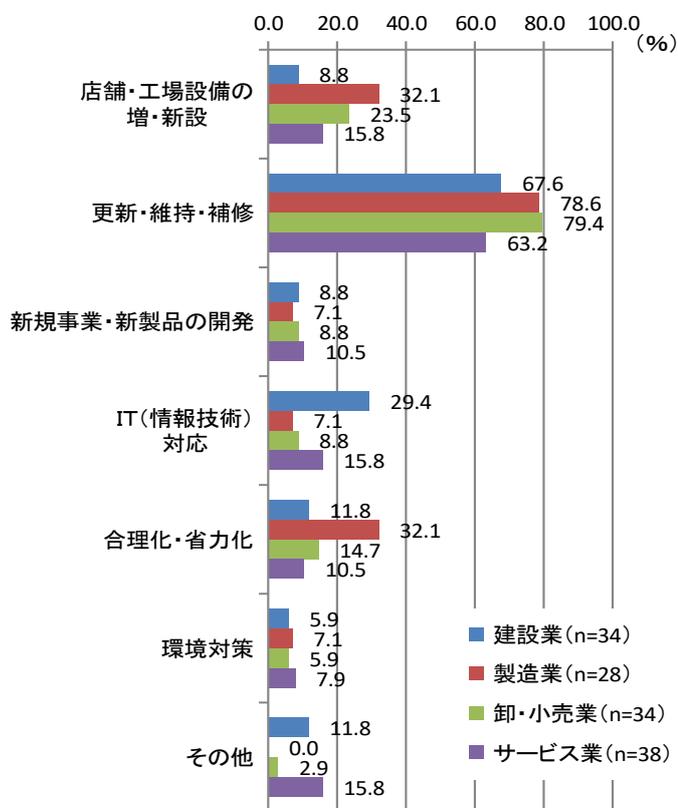
図表 22 「設備投資の目的」の推移（複数回答）



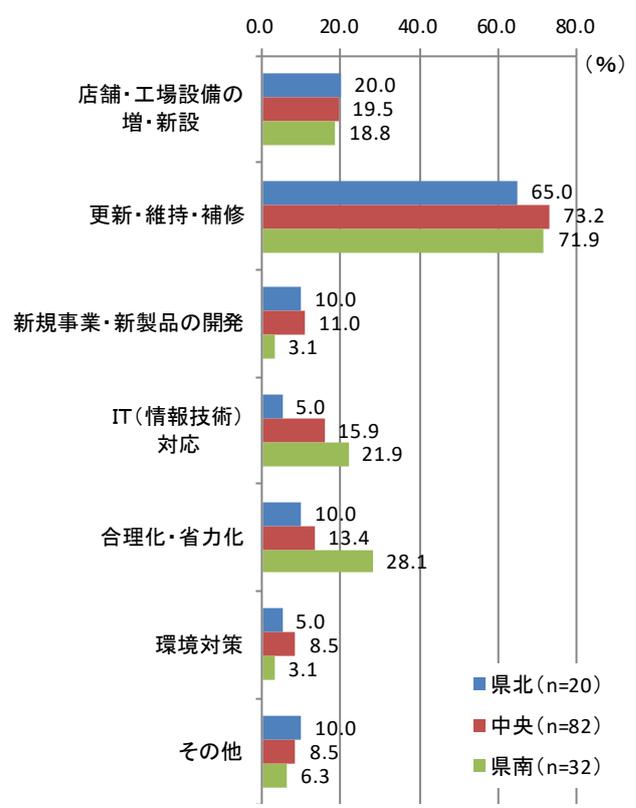
業種別にみると、「更新・維持・補修」と回答した企業の割合は製造業と卸・小売業で7割台となるなど、すべての業種で最も高くなっている。これに続く設備投資の目的は、建設業では「IT（情報技術）対応」となり、製造業では「店舗・工場設備の増・新設」と「合理化・省力化」が同率で並び、卸・小売業では「店舗・工場設備の増・新設」、サービス業では「店舗・工場設備の増・新設」と「IT（情報技術）対応」が同率で並ぶなど、業種によって違いがみられた。

地域別にみても、すべての地域で「更新・維持・補修」と回答した企業の割合が最も高くなっている。

図表 23 業種別「設備投資の目的」の推移（複数回答）



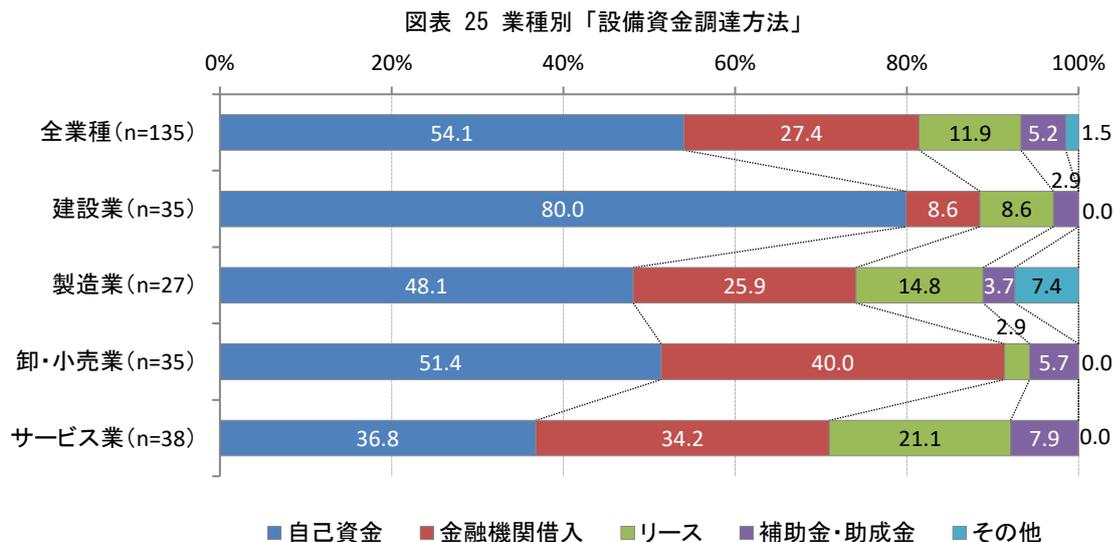
図表 24 地域別「設備投資の目的」の推移（複数回答）



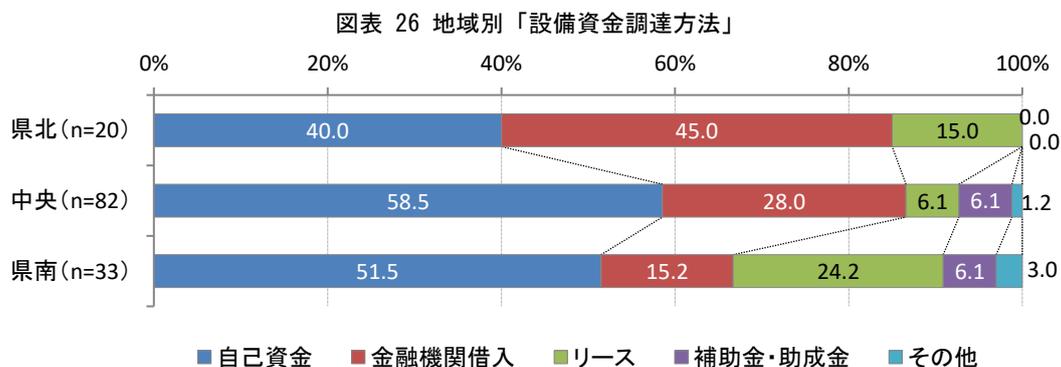
(4) 設備資金調達方法

設備資金の主な調達方法について尋ねたところ、全業種でみると「自己資金」と回答した企業の割合が54.1%と最も高くなり、次いで「金融機関借入」が27.4%、「リース」が11.9%、「補助金・助成金」が5.2%、「その他」が1.5%と続いた。

業種別にみると、すべての業種で「自己資金」が最も高い割合となったが、建設業では8割以上を占めて他の業種より高い割合となっている。サービス業では「自己資金」が36.8%、「金融機関借入」が34.2%と僅差となるなど、業種によって違いがみられた。



地域別にみると、「自己資金」の割合が中央では58.5%、県南では51.5%といずれも5割を超えて最も高い割合となったが、県北では「金融機関借入」の割合が45.0%で「自己資金」の40.0%より高い割合となっている。また、中央と県北では「補助金・助成金」がともに6.1%であったが、県北は皆無であった。



<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	21	17	24	18	80
中央	64	47	66	76	253
県南	36	47	37	20	140
合計	121	111	127	114	473

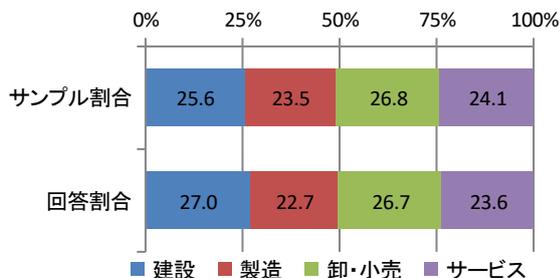
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	15	11	18	12	56
中央	47	34	45	50	176
県南	25	28	23	14	90
合計	87	73	86	76	322

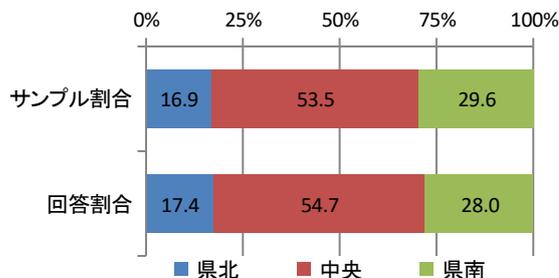
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	71.4	64.7	75.0	66.7	70.0
中央	73.4	72.3	68.2	65.8	69.6
県南	69.4	59.6	62.2	70.0	64.3
合計	71.9	65.8	67.7	66.7	68.1

(業種別：%)



(地域別：%)



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）。

● 調査期間

2024年8月1日（木）～16日（金）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
県北	大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村
中央	秋田市、由利本荘市、湯上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村
県南	横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について3肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。

項目	選択肢 (択一方式)		
自社の業況(共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況(共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高(建設業を除く)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高(建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益(共通項目)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手(共通項目)	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り(共通項目)	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格(製造業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製(商)品の仕入価格(卸・小売業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況(製造業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
手持工事高(建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を採っている。

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれD I値を算出する。D I値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り。

例) 自社の業況D I値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況D I値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向(良くなっているか、悪くなっているか)についても分かる。

ちなみに、他のD I値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと)を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

<お知らせ>

F S N会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<https://www.fir.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研 秋田事業所 地域政策コンサルティング部 小玉/小林

・ 秋田事業所

〒010-0001 秋田県秋田市中通 3-1-41 北都銀行本店内

TEL : 018-837-1727 Fax : 018-834-5508

・ 山形支社

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-21 荘銀山形ビル 8F

TEL : 023-626-9017 Fax : 023-626-9038 E-mail : kenkyuu@fir.co.jp

URL : <https://www.fir.co.jp/>